昭和25年（1950） 12月20日（水曜日） 第178号 磐城毎日新聞 定価1ヶ月50円 一部賣二円 第三種郵便物認可（一）

磐城毎日
社長 大和田與
発行所 福島縣平市
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷人 遠藤孝倫
発行 平（平）一二一〇番
電話 五一九番 五三五番

土木建築請負業
堀江工業株式會社
社長 長谷川常吉
平市鎧槌小路
電話 五一九番 五三五番

職安から町村攻勢へ

自由労組 歳末要求にも異色

自由労組の冬期攻勢は日毎中心とする容共派の石城地に激化特に職安攻勢から轉區自由労組會議と小名濱湯換した市町村當局の要求獲本などを中心とする反共派得斗爭は中央地方とも一般の石城自由労組連合會との産業労組攻勢の中にも異採二つに分裂互に異つた方針を放つており其の背後關係のもとに自派獲得を計つが強く追求されているが來たが年末攻勢に於ても完つて職安爭件其の他で一躍全に對立する要求を掲げ其勇名をはせた石城の自由労の成行きが注目されている組は其の後內郷山田などを

永戸箕輪村十一、澤渡三阪村六、草野村三、大浦村四、四ツ倉町十一、大野村三、上下小川村四、川前村六

モートロツク 氏視察

東北民事部經濟課モートロツク、ハグットの兩氏は現時に郡山へ向ふ豫定

下の電力危機打開のため十九日午前八時廿分來市、市役所で市長、助役、東北配電平營業所、鑛業連盟の關係者と會見日本の電力事情について昨月十五日までは需要量五百六十万キロWに對し二週間後の十二月一日現在では六百万KWと急激に增加しているに反し一方發電方面は逆に生産が下落している現況を説明し合せて地方におけるこの電力急機の打開策を要望し懇談會場に押しかけ、押問答の末町に至る十六キロの縣道は湯本町を視察、廿日午前八澤田勝義、大谷觀光產業道路として縣道に編入してから一度も修理し入り午後一時から小名濱た事もなく少量の降雨にも阿部文平、澤田茂治の三氏を第浸水して荒廢されるにまかして來たがこのほど坂本村せて改修に署名を求め十二長から關係部落民に呼びかけて改修に署名を求め十二月縣會に陳情書提出すべく目下奔走中である

容共派や越冬資金と サボ戰術 濡れ手で粟の要求

容共派と目され內郷、山田木監督所と對立、警官の出など自由労組は先づ小まわ動を見た外いずれも越冬資り制實施を冬期攻勢の突破金一人二千円△作業衣地下口に佐久間喜代治鉛木磐夫足袋の無償配給正月の三日長江久雄いずれも共產黨員間の有給休かを要求、職安などの指導の下に好間村川及び各町村にねばり強い攻名子の現場でサボ戰術で十勢に出ておる

石城郡人口判明

平市は四万三千余名

石城地方事務所の調査によの計八百十名中國人男三名る十二月一日現在の郡人口女三名、計六名、台灣人男役場玄關には平一名であつて昨年十二月人座の佐久間喜代治の鈴木磐夫、神頑張り、警戒に出四名、轉出二千五百十二名口廿九万五千六百名からみて七千名の減少となつていた出生七百七十七名、死亡二百名で三百七十二名が增加するがこれは飯野、神谷の兩鄉町署の警官と夕刻まで總數は廿八万八千五百廿四村が平市と合併されたため時、午後六時ころ解散した名その內男十四万五千一百で平市を除く郡全般にわた六十二名、女十四万三千二つてはさほど變動をみていない、なほ平市の十二月一百六十二名となつている、其の他在住者は朝鮮人男五百七十四名、女四百卅六名

働いて生き抜く 派共 反

お正月休みも返上要求

一方反共系と言われる小名の協力方を職安に要求して濱、湯本、赤井南部等六組合は先に小名濱で幹部會を開き年末年始の休を返上勞させて慾しいなど容共派とは反對の數項目を決議其

おりいずれにしても少ない就勞數により日り出費多い年末、年始を切り抜けねばならぬ日雇勞務者の立場を訴え今後の出方は關心を呼んでいる

越冬資金を 內郷町に要求

強硬態度に警官出動

道分岐點から大字六十枚、

小名濱へドブ狩出動

燒酎など七石押收した

平稅務署では十九日午前五時半密造摘發隊會根課長始め二十名が出動小名濱町署長以下十名武裝警官の協力を求めて、小名濱方部の寮造所を急襲、同町本町朝鮮ジ人張在高(三四)同町丘小名丁(三四)二軒から濁酒モロ六石、燒ちゆ七斗、蒸溜器二器其の他三石桶、コウ

お米屋申請三百軒

主要食糧の自由登ろく制に基いて申請期限の十五日迄に米屋開業の申請をしたものは郡下各町村で二百九十八名でその內譯は

泉村七、渡邊村一、植田町十五、山田村十、錦町十一、勿來町卅五、上遠野村六、入遠野四、川部村十二、田人村十一、夏井村一、高久村二、豊間町九、江名町十、鹿島村二、小名濱卅、磐崎村七、湯本町十七、內郷町卅五、好間村十六、赤井村九、

青少年不良化止防

討論會にのぞんで

平三中生徒會長 村木敏夫

不良化の防止は發見するに於いてもよいふんい氣をつくつていくことに努力することが是非必要だと思います

我校における地域生徒會も一中二中と同樣に長期に亘る休みには殊に回數を多く二回—三回行うことにしています、そしてそこに記錄がありしかも生徒會との密接な連りを持つて活動內容は地域により異りますが生活目標から離れるようなことはありません、この會は先生は勿論地域のTPAの皆樣によつて育てられていくわけで、又生徒自身もお互が育てようとして努めています、最後にもう一度云いたいのは不良化防止の方法としては、發見してからの注意遊び場の完備などより、第一回開催と競技日數について協議した結果第一回の開催は競輪場工事の進捗情況で確定しないが一月末日と豫定し競技日數については中央からの指令によつて今迄の六日制を十五日制に變更した

小名濱へドブ狩出動

燒酎など七石押收した

平稅務署では十九日午前五時半密造摘發隊會根課長始め二十名が出動小名濱町署長以下十名武裝警官の協力を求めて、小名濱方部の寮造所を急襲、同町本町朝鮮ジ人張在高(三四)同町丘小名丁(三四)二軒から濁酒モロ六石、燒ちゆ七斗、蒸溜器二器其の他三石桶、コウ

漁船港內で遭難

原因沈沒船へ衝突か

小名濱町漁業高橋友吉さんけれども認められなくなつた新有盛德丸(一六トン)同町古港漁谷岩夫さん所有第五光勝丸(九トン)同町古港志賀政夫さん所有政丸(一一トン)の二隻は十九日同朝小名濱港を出港しようとして造船所附近にさしがつたときいずれも船底に大穴をあけ次々に沈沒した、乘組員は百米位のところをまよぎり全員無事救助された十五万圓原因は去る十六日の暴風の雨で沈沒した同港の運輸事務所の所有船ドロ船が沈んでいるのに引つかけたものと見られ調査中

豆腐を配給

平市では廿一日から三日間北海道着大豆による豆腐を配給する價格は一丁百卅匁十五円

市競輪常任委員會開く

平競輪場では十八日午後一時から市會議室で競輪運營常任委員會を開き、競輪の第一回開催と競技日數について協議した結果第一回の開催は競輪場工事の進捗情況で確定しないが一月末日と豫定し競技日數について中央からの指令によつて今迄の六日制を十五日制に變更した

草野觀光道路の改修を陳情

草野村大字下神谷字宿の國

越冬資金を內郷町に要求

強硬態度に警官出動

道分岐點から大字六十枚、

ふんだんに召し上れ 煙草消化割當六千万円

專賣公社平出張所では十二月中の割當賣上額を前月より込み戰に急ピッチをあげ年未年始の贈答用に化粧箱付煙草の宣傳に大量だ小賣店あつて廿万、卅万と一時に割當られてもはたして今月十八日午後四時ころ內郷町小名濱町字小港一三二漁夫工藤登志雄(四〇)さん方では十八日午後十一時から十九日二時頃までの間に靴三足下駄、朝食に仕かけてあつた鍋の米などが盗れた昨年も同樣の盗難あり一犯人の仕業と見てゐる

仕込んだ鍋の米を盗む

廿三万の詐欺事件につき平檢察審査會に初申立てを行なつた事件につき審査會の動きが注目されていたが十八日午前九時ころ不服申立ての本人が突然申立て取り下げを願い出た

初の審査申出 取下げとなる

道路復興寶くじ明日抽籤

縣第二回道路復興寶くじは先月廿日から今月十五日まで賣出した結果郡下では割當量十二万五千枚、三百七十五万円を完全消化したなほ同くじの抽籤會は明廿日である

奥の松で無錢遊興

高久村大字上山口農國井昭三(三三)は十七日夜平市田町大字湯本大山仙吉にかゝる

大塚の歲暮大賣出し

全商品百円以上一割引
十五日より末日まで

◇定評有る……大塚の靴
紳士靴 婦人靴 小供靴
七五三
有名の月星運動靴
黑、白、茶—六文より十一文半まで

◇×マス……贈答品に
グローブ、ピンポンセツト
美しい箱入致します

◇運動服各種
平市驛前三十米道路
靴と運動具は

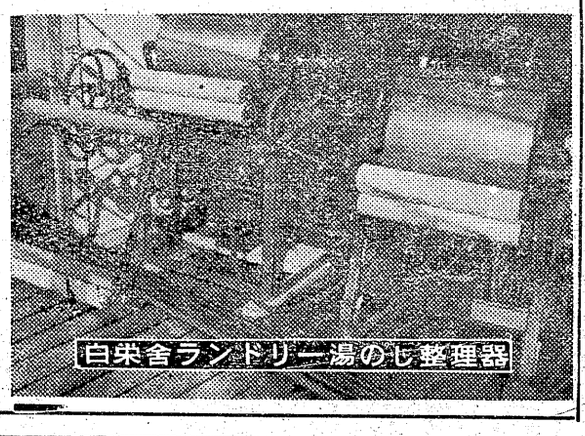
大塚
電話七十七

磐城名産 鰹節 撫辛
丸市屋
平市四丁目
電話二一三番

皆樣の魚店
磐城毎日

料材とカメラ
高級カメラ 感光材料
富豊庫在
田中寫眞機店
平市三丁目大通り七六番
電話 三〇一番

めん製と粉製
季節の味!!!
永島製麺所
澤ノ杉
平市出張所 電1094番 澤野杉
平市丸田町裏通り 工場

本縣唯一つの革命的和服洗張機に依る近代的洗張を……又獨乙、米國輸入染料に依る色上を是非一度お試しを……
合名會社 白榮舍ランドリー 洗張部
平市仲田町 電六六


サンキュー!の三久の三休さん
佐々木商店
平市鍛冶町 電(呼)五〇三番

スポーツ選手育成へ
冬期陸上技競講習會開く

石城スポーツ連盟では來年度のシーズンに備えて郡下から優秀なスポーツマンの出現に期待して十七日から明春三月下旬までの冬期練習を毎日曜日午前十時から正午まで小、中、高校生徒並に一般スポーツ愛好者を對象として陸上競技各種目に亘り婦女高校で指導選手の便宜を圖るために小名濱、植田、湯本、四會にもなつた

織金澤茂市(三九)の十二名を派遣した

坂本、小野氏らはいずれも共選當選の山田氏のため去る十月二十日ころ有志者八名に對し酒、燒さゝ、うスルメなどをきよう應したもの

高級野菜は有望

平窪青年會で 遠藤市技師語る

平市平窪地内の青年會によつて組織されている農事改良協議會では十六日農業改良指導所遠藤技師、平出身で篤農家會川一氏を招き農事對策協議會を開いた、同會において遠藤技師は市における料理店の經營者が戰後益々增加してきたので野菜類の需要が急增されつゝあり高級野菜の栽培は將來有望なものがありそれらの增產を圖る事を資盜み逃走した、賊は家人の不在をねらい同家東南側緣の下から侵入タンスの鍵を火ばしでこじあけ盜んだもの植田地區署で嚴探中

泉村の衣類泥

地區署で捜査中

泉村大字下川字大畑農川澄島市公會堂で各地方代表十名がそれぞれ貴重な体驗談に熱辯をふるつた結果、石城郡代表好間村佐藤としるさんは無計畫な炭鑛に勤く人の生活を改めた体驗談=は十六日午前十時から同農協組で開き今後の運營計畫について協議したほか來年一月十五日の成人の日には對し二觀視されていた居り油斷が何と云うても悠々たるものがあると云はれ、第二區は六千人口に對し六名の登錄店が現はれ居るがこれは保守的に守勢を十分にやつて居れば心配ないであろうし第三區は四千名に對し四名の登錄店が名乘りを揚げて居るから二區同樣守勢で進めるだろう、唯第四區が八名のとうろくで人口三千五百名に水素が二店あるから其の混戰は激甚さを示し苦戰の程も察せられるものがある、第四區は善六商店、正木屋商店、松屋商店が從來からの店舗であるが、これに今回新らしく松本祐夫君が加入して三名となつた、第一區は約四千の人口に對し三名の登錄店で幾分樂觀